

見附市歯科保健計画 第4期

概要版

歯周病などの歯科疾患は糖尿病などの生活習慣病と深く関係することが指摘されており、歯の喪失は食生活や社会生活等に支障をきたし、ひいては、全身の健康に影響を与えることとなります。歯と口腔の健康を保つことは、単に食べるだけでなく、食事や会話を楽しむことで健康寿命の延伸にも繋がり、豊かな生活をするうえで欠かせないものとなっています。第3期計画の期間中はコロナ禍の影響により数値が悪化した期間がありましたが、その後改善した項目もあり、計画の進捗は順調に推移しています。一方で乳幼児や高齢者・要介護者などの展開ステージでは悪化した項目がありました。こうした状況を踏まえ、より一層、市民の生涯にわたる生活の質の向上と全身の健康の保持増進を図るため、令和5年度で計画期間が終了する第3期計画の検証を行い、「見附市歯科保健計画 第4期」を策定しました。

I 計画の期間

令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年計画です。必要に応じて中間評価を行います。

II ライフステージ別の目標と主要施策

妊産婦	妊産婦と生まれてくるこどものむし歯・歯周疾患を予防できる
	主要施策
乳幼児	親子でよりよい食習慣と歯磨き習慣を身につけることができる
	主要施策
小学生・中学生	歯と口の健康への知識を生かし、むし歯・歯肉炎を予防する生活を実践できる
	主要施策
成人	生涯健康な歯を守る
	主要施策
高齢者・要介護者	自分の歯でおいしく、楽しく食事ができる
	主要施策
障がい児（者）	地域の歯科医院で定期健診を受け、歯や口の健康を保つことができる
	主要施策

Ⅲ 指標一覧

	指 標	現状値	目標値 (R11 年度)
妊産婦	妊娠中に歯科健診・歯科受診する人の割合	64.5%	維持又は増加
	歯間部清掃器具を使用している人の割合	48.1%	維持又は増加
	妊娠中よくかんで食べるよう意識している人の割合	85.7%	90.0%以上
乳幼児	むし歯のない児の割合（1歳6か月児）	98.0%	99.0%以上
	むし歯のない児の割合（3歳児）	96.2%	95.0%以上
	むし歯のない児の割合（5歳児）	81.0%	85.0%以上
	毎日仕上げ磨きをする割合（1歳6か月児）	96.7%	99.0%以上
	毎日仕上げ磨きをする割合（3歳児）	97.2%	99.0%以上
	毎日仕上げ磨きをする割合（5歳児）	74.6%	80.0%以上
	おやつを規則的に食べる児の割合（1歳6か月児）	77.6%	90.0%以上
	おやつを規則的に食べる児の割合（3歳児）	75.7%	90.0%以上
小学生・中学生	12歳児(中学1年生)の一人平均むし歯数	0.20本	維持又は減少
	むし歯のない12歳児(中学1年生)の割合	86.6%	90.0%以上
	歯肉炎(GO ^{※1} 又はG ^{※2})有病者率 12歳児(中学1年生)	7.8%	6.5%以下
	歯肉炎(GO ^{※1} 又はG ^{※2})有病者率 14歳児(中学3年生)	6.2%	5.0%以下
	処置歯率（小学校）	74.2%	90.0%以上
	処置歯率（中学校）	80.3%	90.0%以上
成人	歯周病検診の受診率の割合（30, 40, 50, 60, 70歳を対象）	6.7%	10.0%以上
	定期的に歯科検診を受ける人の割合（20歳以上）	47.5%	55.0%以上
	歯間部清掃器具を使用している人の割合	66.5%	70.0%以上
高齢者・要介護者	基本チェックリスト口腔機能2項目該当者の割合	26.7%	20.0%以下
	見附市在宅歯科医療連携室の訪問歯科診療の実施件数	116件	増加
障がい児(者)	車椅子利用者への配慮ありを表示する歯科医療機関の増加	10件	増加
	視覚・聴覚障がい者への配慮ありを表示する歯科医療機関の増加	1件	増加

※1 GO:要観察 ※2 G:要精検

見附市歯科保健計画 第4期（概要版）令和6年3月発行

見附市健康福祉課健幸づくり係

〒954-0052 見附市学校町2丁目13番30号 TEL:0258-61-1370 FAX:0258-62-7052